

慈光保育園

# 初の卒園児送り出す

## 受け入れ年齢拡大に伴い

3歳未満児保育所「専門の保育所として」として始まり、2017年度から4歳児以上の受け入れを可能にした慈光保育園（飯田市宮の前）で26日、初めての卒園式が開かれ、7人の門出を祝った。

社会福祉法人慈光福祉会（高松和子理事長）が運営する同園は、1969（昭和44）年に未満児



慈光保育園初の卒園児7人

児を受け入れるようになった。そんな中、3歳以上になっても「転園せずに残りたい」という要望もあり、対象年齢を拡大。この春、初めて卒園児を送り出すことになった。

4年から5年数カ月を同園で過ごした卒園児たちに、塩原智子園長は「4月から始まる小学校生活では、保育園で付けた力が皆さんに勇気を与えてくれる。困った時は『助けて』というのはとても大切なこと。元気な気持ちで通って」と励ました。

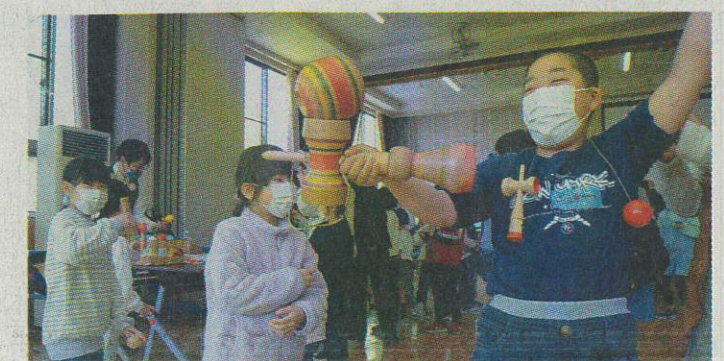
高松理事長は「以上児」の受け入れ開始からこの日までを

振り返り「園として初めて取り組みは」初めて取り組みは「初めて取り組みは」ことばかりだった。卒園児と在園児はが、保護者の皆さんが温かく見守ってくれたおかげで最初の卒園児を送り出せる」と保護者に感謝した。

### 市けん玉で競い合いも

#### 飯田 小学生参加し「東野寺子屋」

飯田市の東野地区で26日までの3日間、地域住民らが講師役となって子どもたちと触れ合う「春休み子ども寺子屋」が開かれた。小学校の長期休暇に合わせ取り組みで、5回目。さまざまな体験を体験した中学生も



東野地区の小学1年生までの31人が参加した。地域住民がスタッフとして関わり、今回は寺子屋を手話ゲーム、水引細工、風力工する器挑戦した。26日は、地

## レジャーシートで屋外に

### 高森町 柿丸くんグッズ作成

高森町は、町のキャラクター「柿丸くん」のレジャーシートを製作した。4月1日から町役場など

す、下伊の3カ所。柿丸くん、現在、夕

## 春の香りを味わおう！

阿南少年自然の家 山菜採りといちご狩り

付けを行い、歓迎会に続いて山菜採り体験。採った山菜で夕食をつくる。18日14日以降のキャンセル

カキのこころおまかせ 時りんど 飯田市松尾清水 24-96001

高森町は、町のキャラクター「柿丸くん」のレジャーシートを製作した。4月1日から町役場など特命職員のエミ・の投票で選出。最終的に市田柿をイメージしたオレンジ色に白抜きで柿丸くんのイラストを配したデザインは、フラ